



アイカ工業株式会社

2025年3月期第2四半期（中間期）
決算説明会



VALUE CREATION
3000 & 300



2024年11月25日
証券コード：4206

- 連結業績**
 - ✓ 売上高・営業利益・経常利益・中間純利益※¹は何れも**計画および前年を上回り、過去最高を更新**
- 国内事業**
 - ✓ 化成品セグメントは**収益性の改善が継続**
 - ✓ 建装建材セグメントは**高付加価値商品を中心に伸長**
- 海外事業**
 - ✓ 化成品セグメントは**AAPグループ※²、EMCグループ※³が何れも伸長**
 - ✓ 建装建材セグメントは中国・ベトナムが低調、**タイ・インドネシアは伸長**
- 今期計画**
 - ✓ 通期で**過去最高**の売上高・営業利益・経常利益・当期純利益※¹を計画
- 資本政策**
 - ✓ **配当計画を修正**（前期実績より4円増配の116円へ）
 - ✓ 当社株式の**売出しを実施し**、40億円(150万株)を上限とする**自己株式取得を実行中**

※1 親会社株主に帰属する中純利益間および当期純利益

※2 AAP：アイカ・アジア・パシフィック

※3 EMC：エバモア・ケミカル

- 1. 2025年3月期 第2四半期（中間期） 実績**
2. 2025年3月期 通期 計画
3. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗
4. 資本政策・株主還元

1-1. 連結決算の概要

[百万円]

	2024/3期 中間期		2025/3期 中間期				
	実績	利益率	計画※2	実績	利益率	伸率	達成率
売上高	113,307	—	120,000	120,140	—	+6.0%	100.1%
営業利益	11,406	10.1%	12,700	13,147	10.9%	+15.3%	103.5%
経常利益	12,047	10.6%	13,300	14,230	11.8%	+18.1%	107.0%
中間純利益※1	7,856	6.9%	8,000	8,855	7.4%	+12.7%	110.7%

[円]

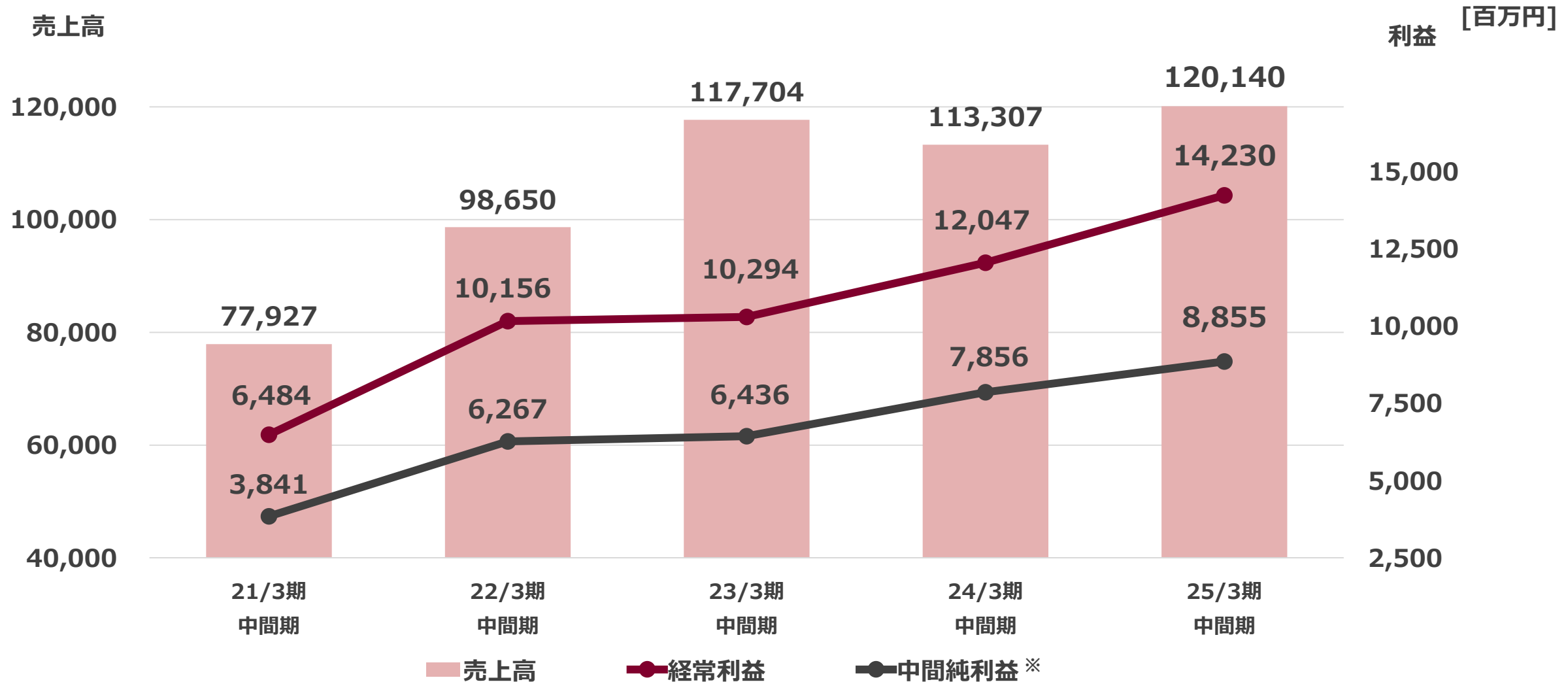
一株当たり中間純利益※1	122.82	—	125.06	138.44	—	+12.7%	110.7%
--------------	--------	---	--------	--------	---	--------	--------

※1 親会社株主に帰属する中間純利益

※2 2024年7月30日に業績予想修正（利益上方修正）

売上高・営業利益・経常利益・中間純利益※1は何れも過去最高を更新

1-2. 連結決算の推移



※親会社株主に帰属する中間純利益

利益は右肩上がりに成長（各利益とも4期連続増益）

1-3. 【参考】主要項目の状況

	2023/3期 中間期	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期
研究開発費	17.2億円	19.4億円	20.6億円
減価償却費	31.0億円	30.2億円	35.5億円
設備投資額	44.3億円	34.8億円	38.6億円
借入金残高	145.2億円	123.2億円	119.7億円
人員数	4,971人	5,111人	5,058人
（国内）	1,608人	1,596人	1,592人
（海外）	3,363人	3,515人	3,466人

1-4. セグメント別業績

[百万円]

	売上高					営業利益						
	2024/3期 中間期 実績	2025/3期 中間期 実績	伸率	2025/3期 中間期 計画	達成率	2024/3期 中間期 実績	2025/3期 中間期 実績	伸率	2025/3期 中間期 計画※	達成率		
化成品	63,697	67,571	6.1%	66,300	101.9%	4,225	4,619	+9.3%	4,780	96.6%	金額	
						6.6%	6.8%	-	7.2%	-	利益率	
建装建材	49,610	52,569	6.0%	53,700	97.9%	9,090	10,518	+15.7%	10,115	104.0%	金額	
						18.3%	20.0%	-	18.8%	-	利益率	
						(配賦不能営業費用)	△1,909	△1,990	-	△2,195	-	金額
合計	113,307	120,140	6.0%	120,000	100.1%	11,406	13,147	+15.3%	12,700	103.5%	金額	
						10.1%	10.9%	-	10.6%	-	利益率	

※ 2024年7月30日に業績予想修正（利益上方修正）

営業利益は両セグメントともに伸長（建装建材は計画も上回る）

1-5. セグメント別海外売上高

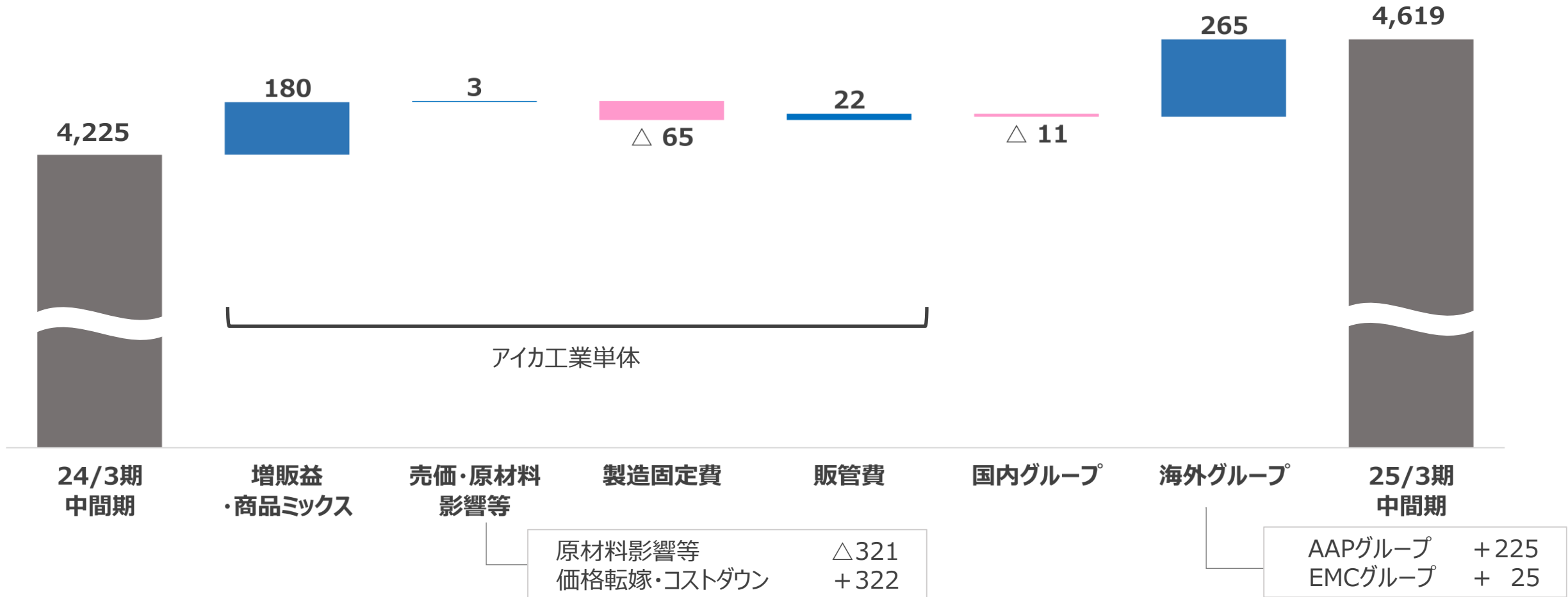
[億円]

	2024/3期 中間期		2025/3期 中間期		
	売上高	海外売上比率	売上高	伸率	海外売上比率
化成品	452.9	71.1%	483.3	+6.7%	71.5%
建装建材	94.7	19.1%	96.8	+2.2%	18.4%
合計	547.7	48.3%	580.1	+5.9%	48.3%

海外売上高は両セグメントで伸長（建装建材は国内伸長が大きく、海外売上比率は低下）

1-6. 化成品セグメント 営業利益実績

[百万円]



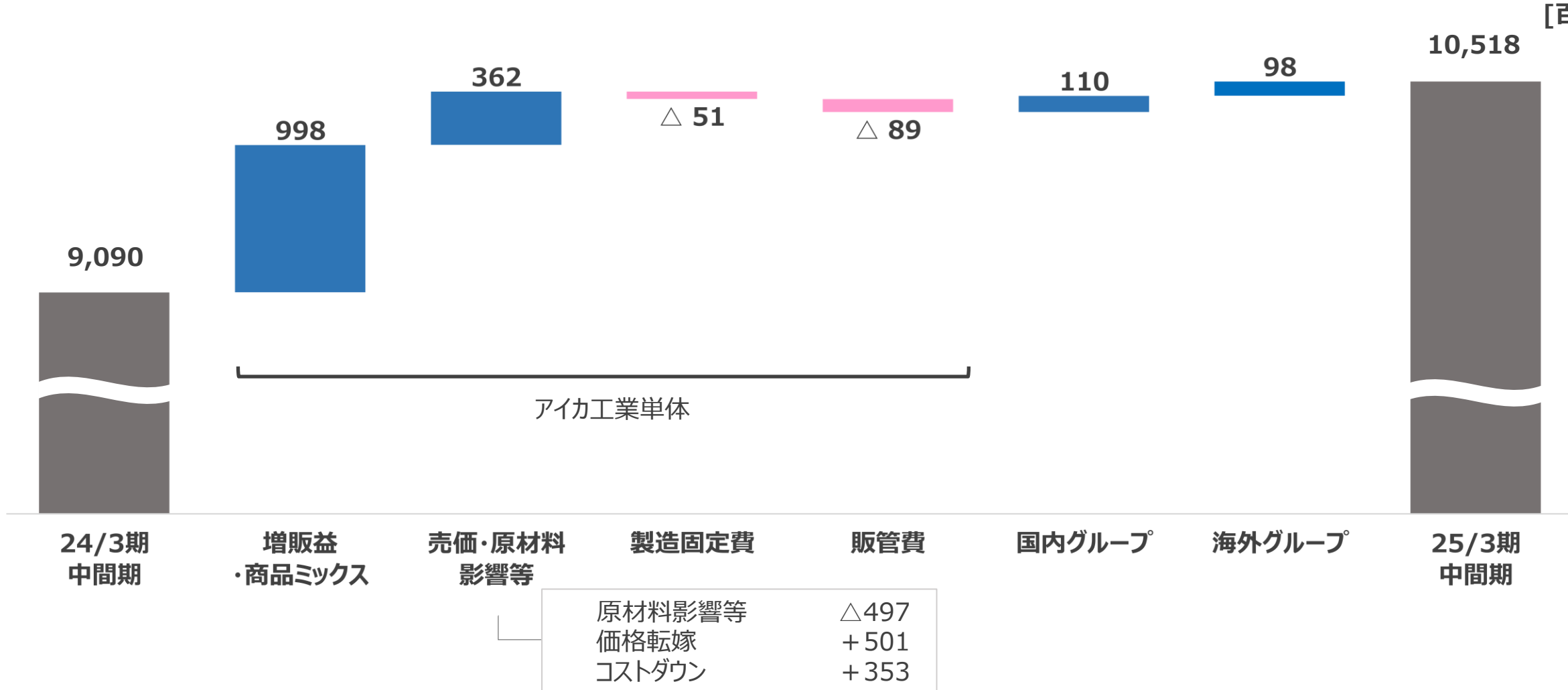
※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※AAP : アイカ・アジア・パシフィック ※EMC : エバモア・ケミカル

国内は販売量の増加／商品ミックスの改善が寄与、海外はAAPグループが伸長

1-7. 建装建材セグメント 営業利益実績

[百万円]



※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

アイカ工業単体が大きく伸長、海外グループは概ね計画通り

1-8. 化成品セグメント 商品群別売上実績

[億円]

	2024/3期		2025/3期			
	中間期実績	通期実績	中間期計画	中間期実績	伸率	達成率
接着剤 (うちAAPグループ※1)	451.1 (350.5)	919.4 (716.3)	465.0 (362.0)	464.4 (360.1)	+2.9% (+2.7%)	99.9% (99.5%)
建設樹脂	49.9	103.1	52.5	52.9	+6.0%	100.8%
機能材料※2	74.7	158.6	82.5	89.3	+19.5%	108.3%
その他	61.1	121.7	63.0	69.0	+12.9%	109.5%
合計	636.9	1,303.0	663.0	675.7	+6.1%	101.9%

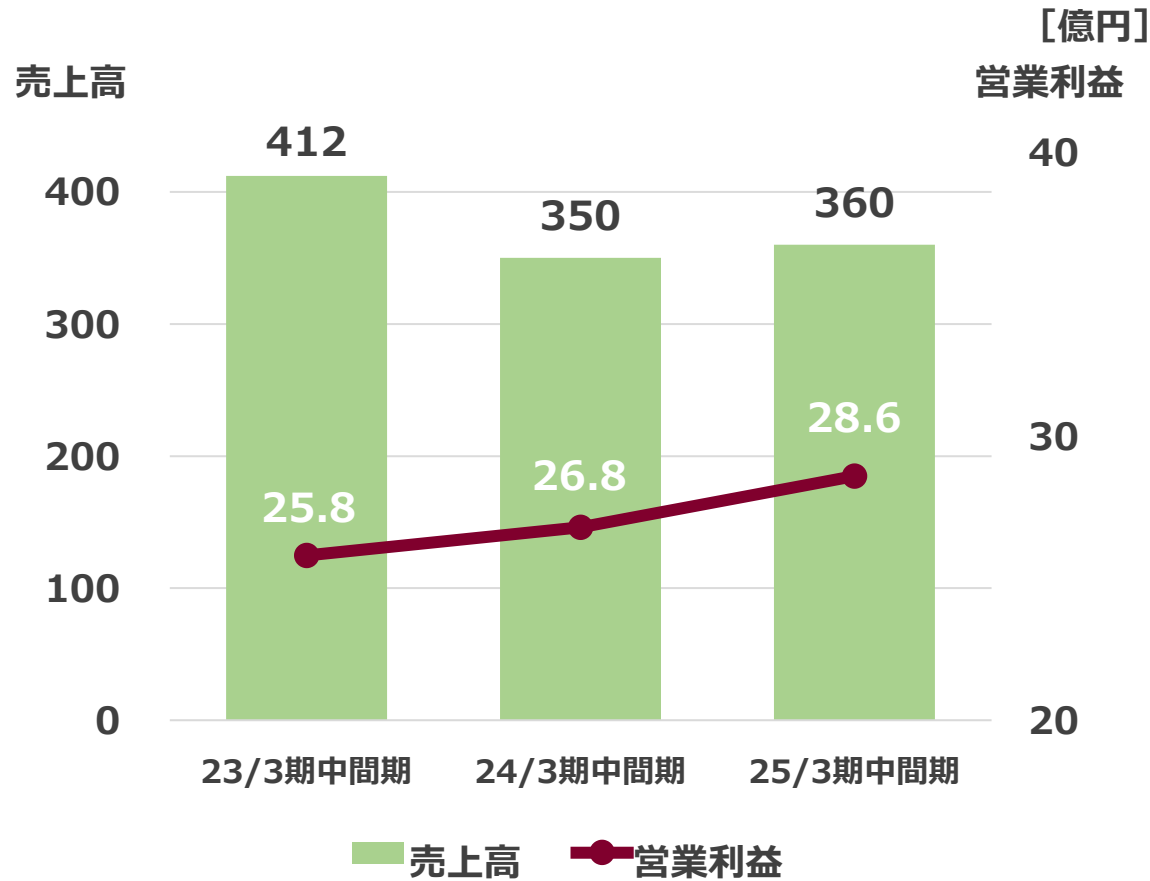
※1 AAP : アイカ・アジア・パシフィック

※2 EMC (エバモア・ケミカル) グループを含む

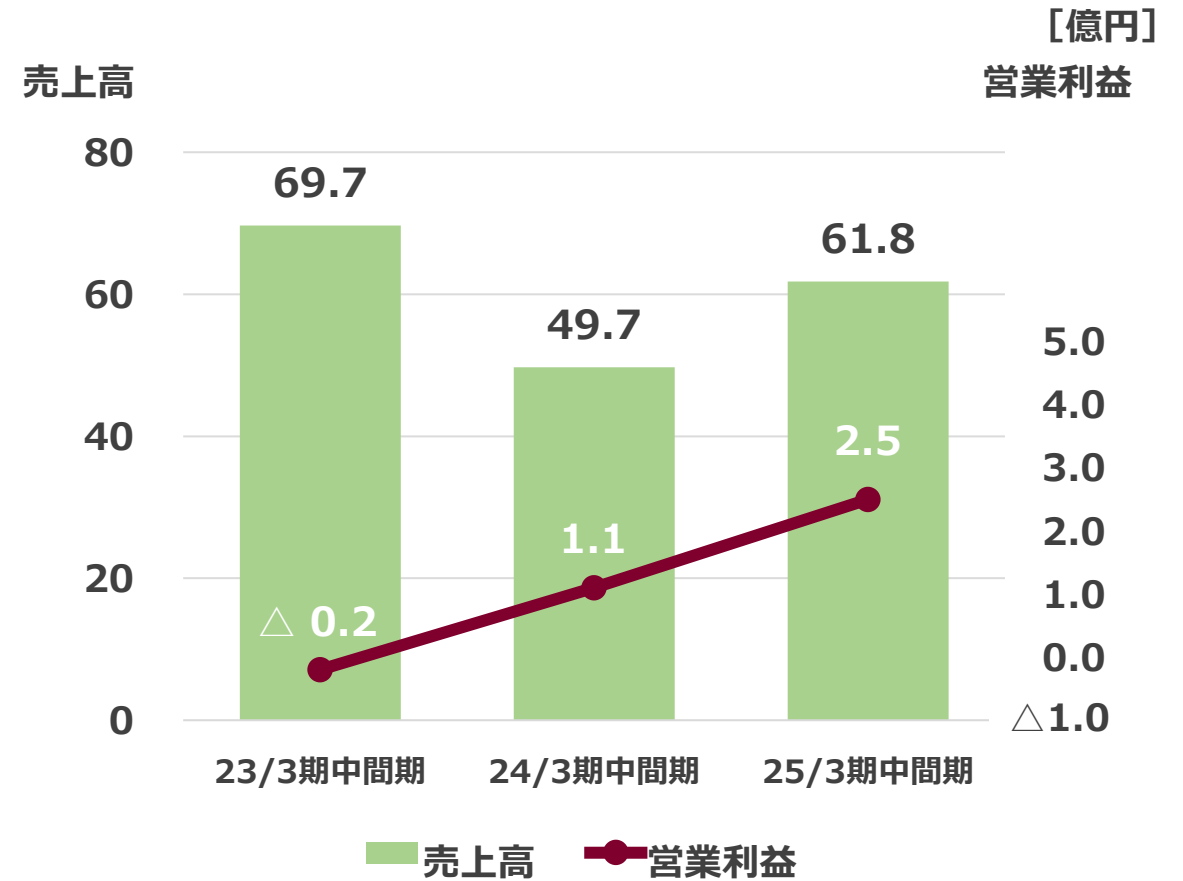
全ての商品群で伸長 (なかでも機能材料が好調)

1-9. 化成品セグメント 実績 (海外グループ)

AAPグループ (接着剤)



EMCグループ (機能材料)



※ AAP : アイカ・アジア・パシフィック

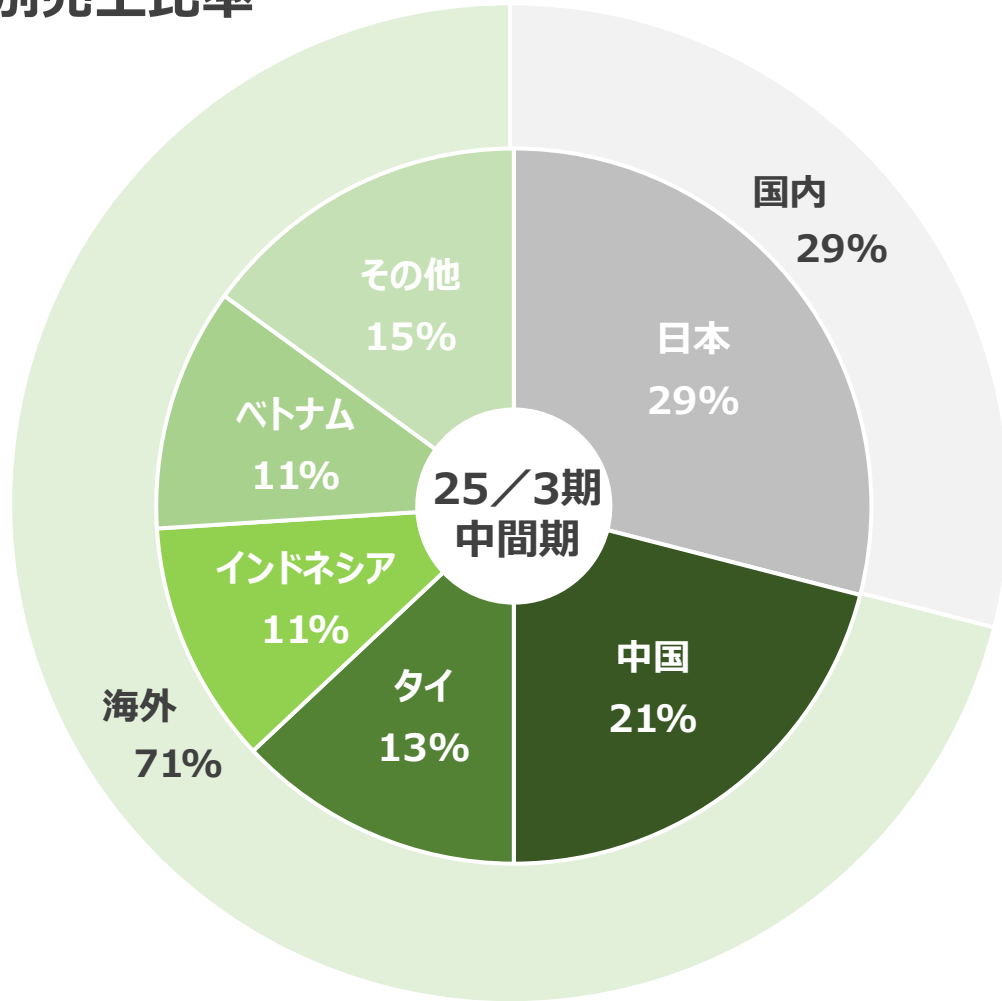
※ EMC : エバモア・ケミカル

※ のれん・連結取引消去前

AAPグループ、EMCグループともに増収増益

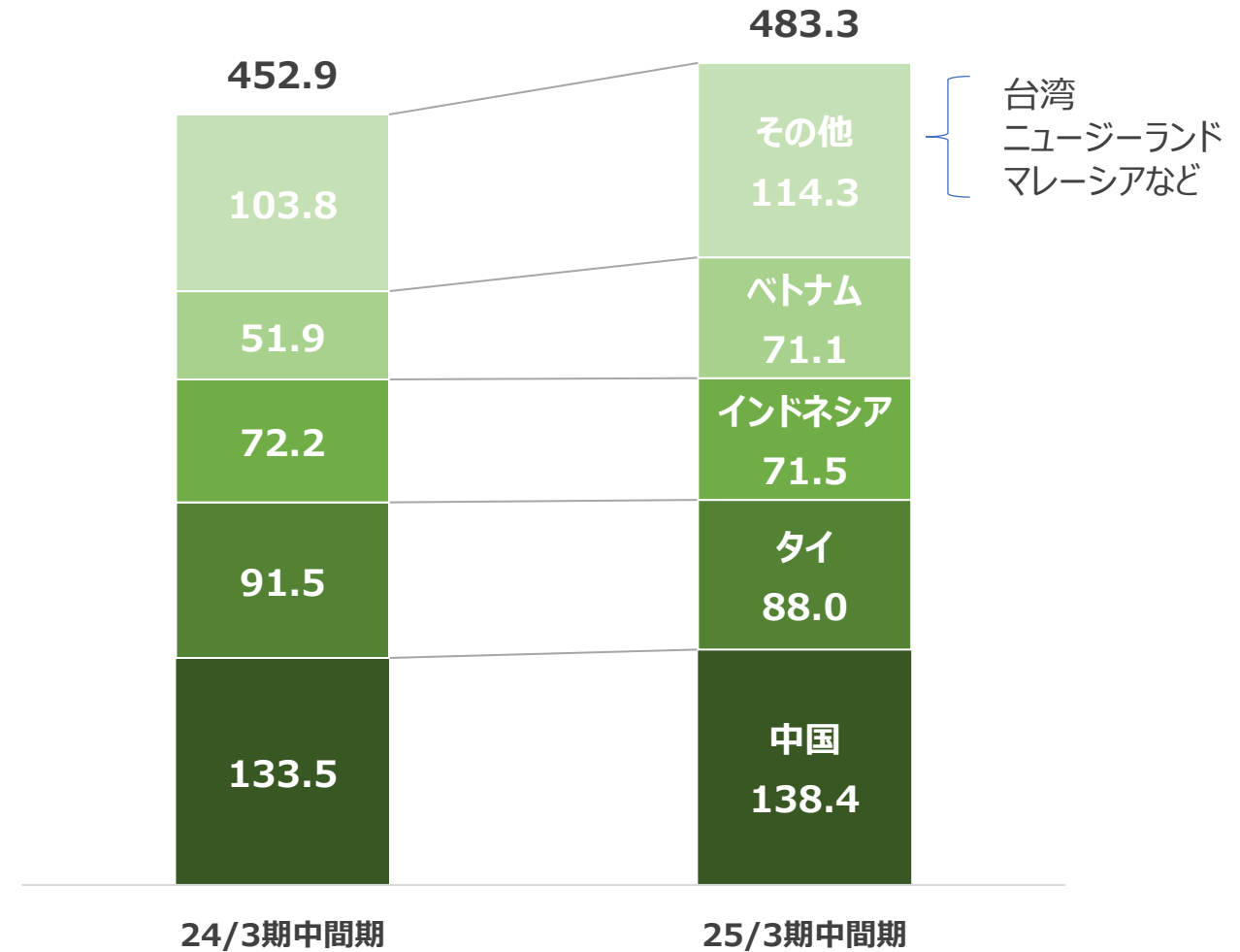
1-10. 化成品セグメント 国別売上実績 (海外)

国別売上比率



海外国別売上高

[億円]



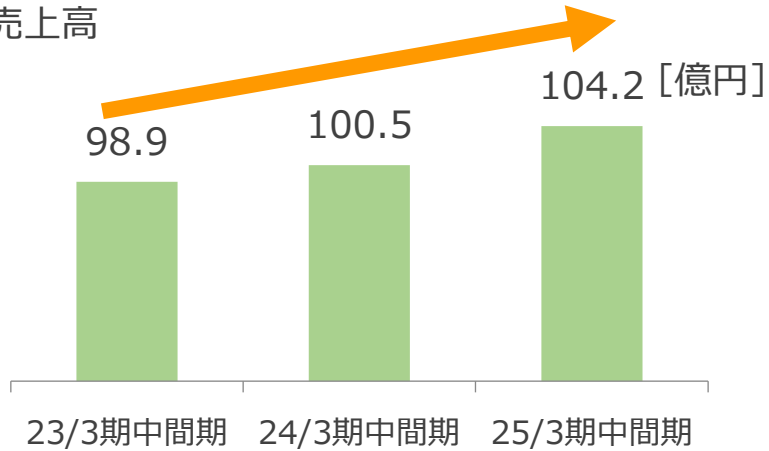
中国は市況低迷の中で健闘、ベトナムは回復、マレーシアは好調

1-11. 化成品セグメント 実績 (国内グループ)

接着剤

各種接着剤・フェノール樹脂など

売上高

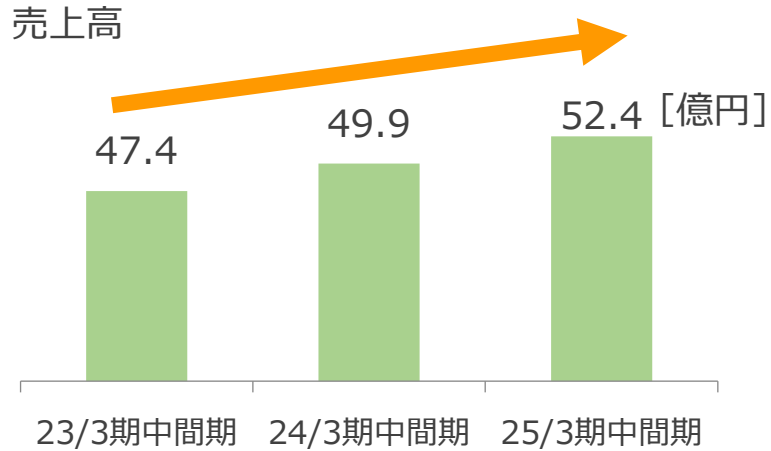


- 施工用接着剤や木工・家具用接着剤が好調
- 収益性の改善も継続

建設樹脂

塗り壁材・塗り床材・補修補強材

売上高

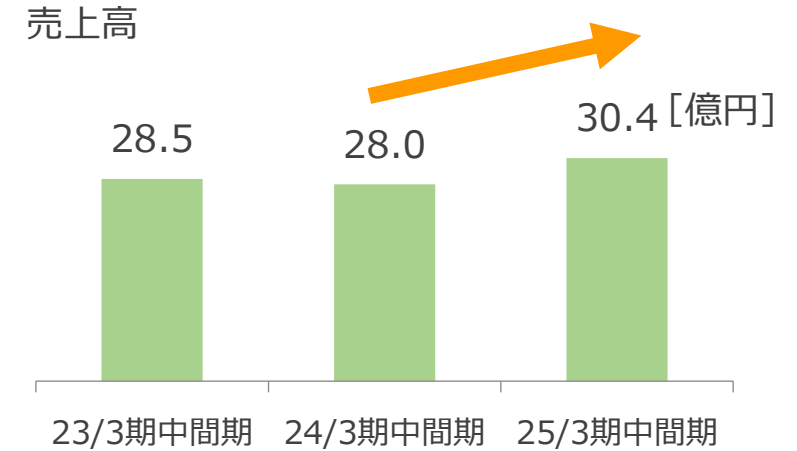


- 市場のニーズにマッチした塗り床材「ジリエース」や「アイカピュール」が好調

機能材料

有機微粒子・UV硬化型樹脂など

売上高



- 電子材料用・自動車用のUV硬化型樹脂や包装用ウレタン樹脂が好調

1-12. 建装建材セグメント 商品群別売上実績

[億円]

	2024/3期		2025/3期			
	中間期実績	通期実績	中間期計画	中間期実績	伸率	達成率
メラミン化粧板	159.1	343.2	177.0	167.0	+4.9%	94.4%
ボード フィルム等	58.4	124.1	61.0	60.9	+4.3%	100.0%
セラール	108.1	232.5	118.0	114.3	+5.7%	96.9%
不燃建材	34.6	75.2	35.0	36.4	+5.0%	104.1%
住器建材	135.6	288.0	146.0	146.8	+8.3%	100.6%
合計	496.1	1,063.2	537.0	525.6	+6.0%	97.9%

全ての商品群で伸長、特に住器建材の「スマートサニタリー」が好調

1-13. 建装建材セグメント 実績 (国内)

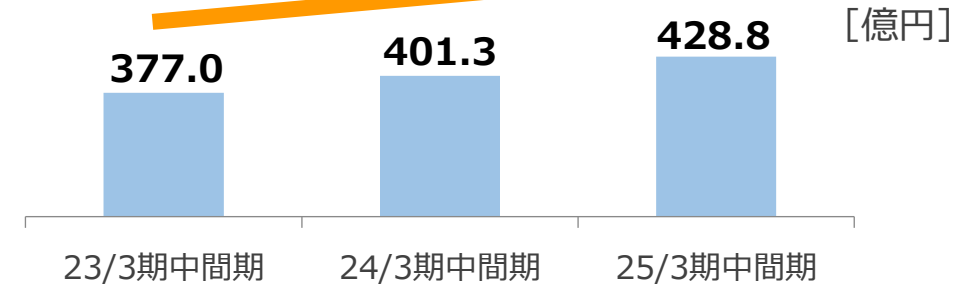
国内建設市場の状況

25/3期中間期 (実績)

	住宅	非住宅
新 築 ※当社需要期へタイムラグ調整済み	△ 5.1% (着工戸数)	△ 3.3% (着工面積)
リフォーム・リニューアル 2024年1月～6月分	+2.8%	+11.6% (受注高)

売上高

国内売上の推移[億円]



「メラミン化粧板」、「オルティノ」、「セラール セレント」、「スマートサニタリー」、「フィオレストーン」が好調

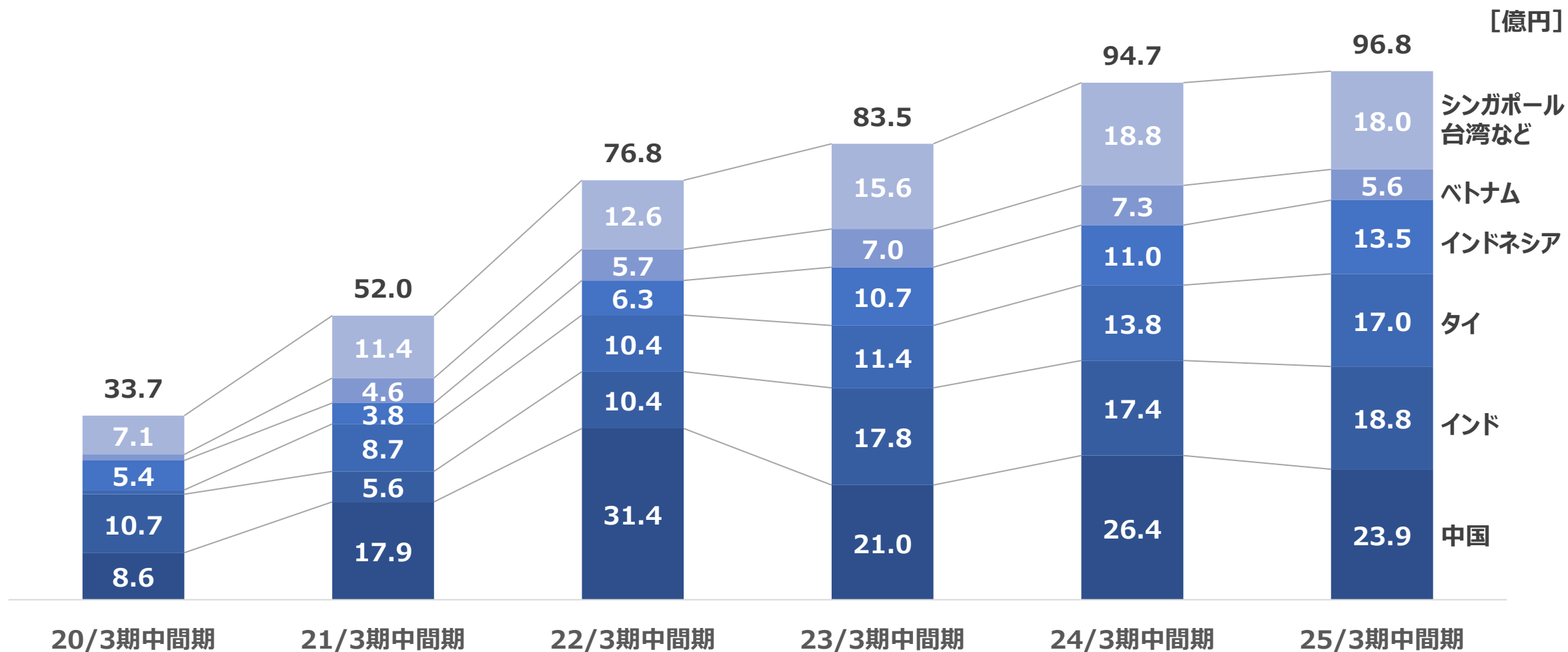
営業利益

25/3期中間期

前期比 **+13.3**億円

高付加価値商品が伸長、増益に大きく貢献

1-14. 建装建材セグメント 国別売上実績（海外）



中間期の海外売上高は直近6年間で約3倍に成長

1. 2025年3月期 第2四半期（中間期） 実績

2. 2025年3月期 通期 計画

3. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

4. 資本政策・株主還元

2-1. 2025年3月期 通期計画

[百万円]

	2024/3期 実績		2025/3期 計画			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増減額
売上高	236,625	—	250,000	—	5.7%	13,375
営業利益	25,286	10.7%	27,200	10.9%	7.6%	1,914
経常利益	26,135	11.0%	28,300	11.3%	8.3%	2,165
当期純利益※	15,135	6.4%	16,200	6.5%	7.0%	1,065
						[円]
ROE	9.9%	—	9.6%	—	—	—
一株当たり純利益	236.60	—	253.24	—	—	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

通期で過去最高の売上・利益を計画

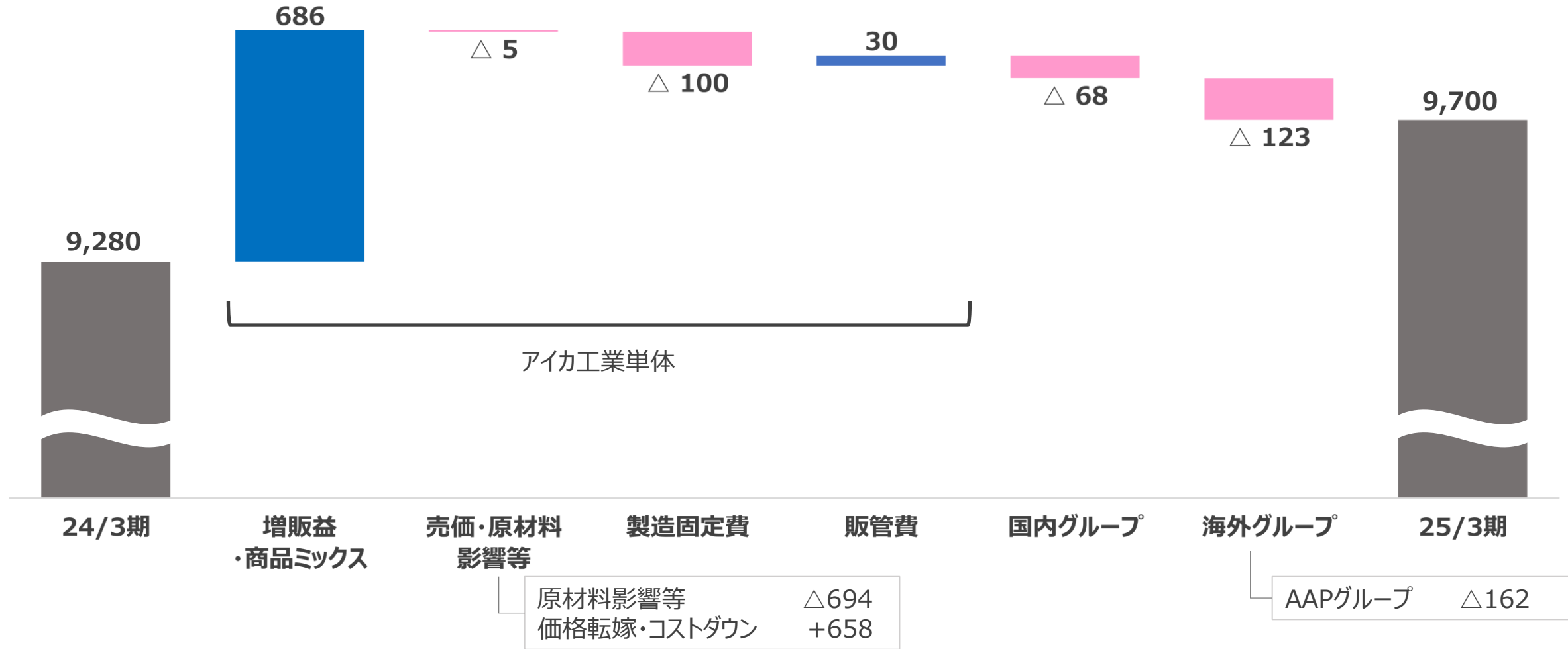
2-2. 2025年3月期 通期セグメント別計画

[百万円]

	売上高			営業利益			
	2024/3期 実績	2025/3期 計画	伸率	2024/3期 実績	2025/3期 計画※	伸率	
化成品	130,300	138,200	6.1%	9,280	9,700	4.5%	金額
				7.1%	7.0%	-	利益率
建装建材	106,325	111,800	5.1%	20,339	21,800	7.2%	金額
				19.1%	19.5%	-	利益率
			(配賦不能営業費用)	△4,333	△4,300	-	金額
合計	236,625	250,000	5.7%	25,286	27,200	7.6%	金額
				10.7%	10.9%	-	利益率

※ 2024年10月30日発表の決算短信補足資料より修正有り (利益のみセグメント間で変更、合計は修正無し)

両セグメントとも通期で過去最高の売上高・営業利益を計画

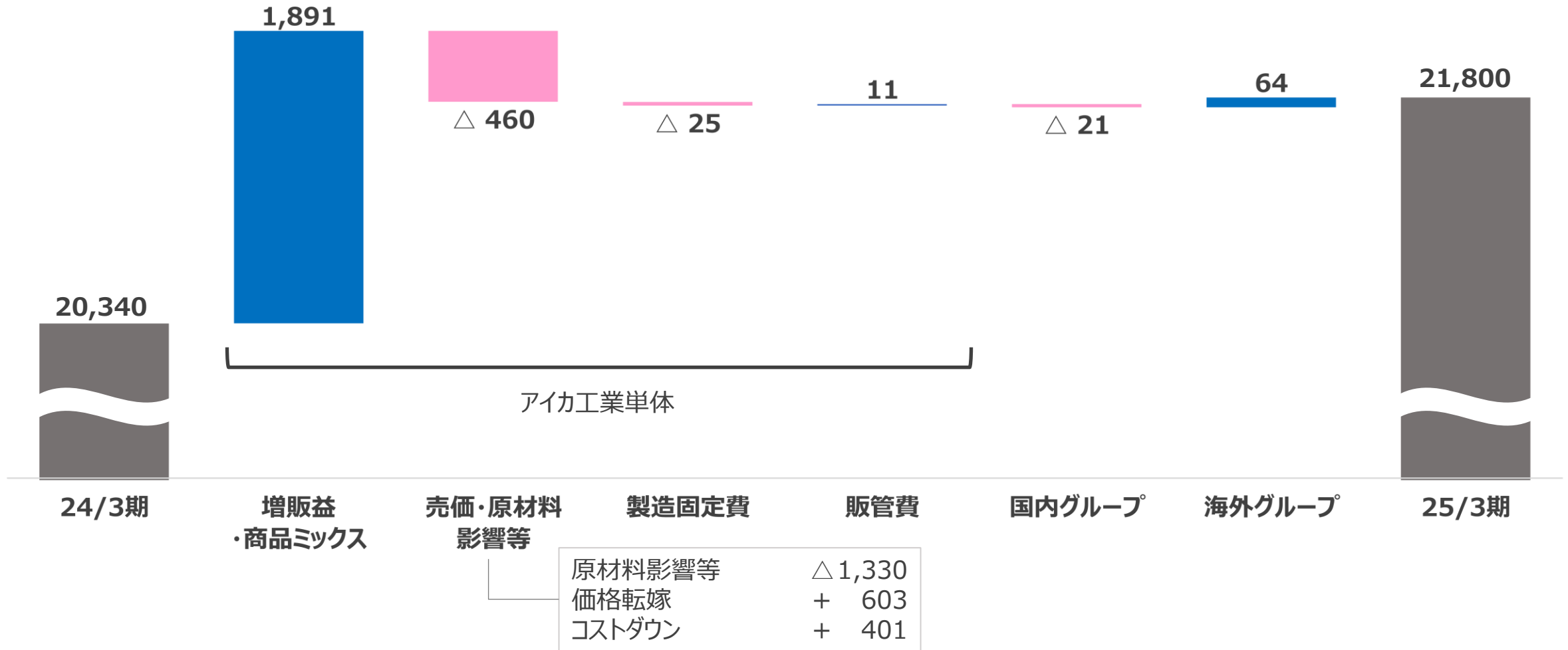


※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※ AAP : アイカ・アジア・パシフィック

AAPグループは減少も、アイカ工業単体の増販益や商品ミックスの改善により増益を計画

2-4. 建装建材セグメント 営業利益計画



※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

原材料影響が顕在化も、アイカ工業単体の増販益や商品ミックスの改善により増益を計画

2-5. 【参考】2025年3月期 経営環境予測

国内建設市場

	住宅（着工戸数）	非住宅（着工面積）
2024年3月期（実績）	△4.0%	△11.1%
2025年3月期（予測）[期初→最新]	△1.1% → △3.7%	△2.2% → △5.0%

※当社需要期へタイムラグ調整済み

海外市場

東南アジアは引き続き堅調なGDPの成長が期待される
一方、地政学的リスクの継続や、中国不動産市況低迷など懸念が残る

為替換算レート

2024年3月期（実績） 1USD = 140.54円
2025年3月期（予測） 1USD = 145.00円

※各国通貨建てのため、ドル建ての子会社は数社のみ

国産ナフサ価格

	上半期	下半期	通期
2024年3月期	67,000円/kl（実績）	68,000円/kl（実績）	67,500円/kl（実績）
2025年3月期	75,800円/kl（実績）	75,400円/kl（予測）	75,600円/kl（予測）

※すべての原材料がナフサに連動するわけではない

2-6. 化成品セグメント 商品群別売上計画

[億円]

	2024/3期 実績		2025/3期 計画	
	通期		通期	伸率
接着剤		919.4	970.0	+5.5%
(うちAAPグループ) ※1		(716.3)	(758.0)	(+5.8%)
建設樹脂		103.1	110.0	+6.6%
機能材料 ※2		158.6	176.0	+10.9%
その他		121.7	126.0	+3.5%
合計		1,303.0	1,382.0	+6.1%

※1 AAP : アイカ・アジア・パシフィック

※2 EMC (エバモア・ケミカル) グループを含む

全ての商品群で前年を上回る売上げを計画

2-7. 化成品セグメント 方策（海外グループ）

AAPグループ※1 ADBシーラント社の子会社化

AAP戦略

繊維板用

パーティクルボード用樹脂
MDF※2用樹脂

産業用

木工用接着剤、摩擦材用樹脂
自動車ヘッドランプ用ホットメルト
DIY製品 など

高収益の産業用に積極投資（M&A）で拡大

アイカアドテック
(ホットメルト/マレーシア)

クエン・ボン・テクノロジー
(フェノール樹脂/タイ)

2021

2023

2024

ADBシーラント

(接着剤・シーラント・DIY製品/タイ)

ADBS※3 × AAP シナジー

販売

ADBS



シーラント・DIY製品

×

AAP

ブランドカ・販路

リテール市場
販売拡大

技術

ADBS



接着剤（ゴム糊）

×

AAP

高品質化

タイ国内
シェアアップ

AAPグループ 中国

アイカ福建 新工場稼働

竹材用フェノール樹脂を製造
2024年12月稼働予定



EMCグループ※4

UV硬化型モノマー

第3製造ライン本格稼働

発泡ポリウレタン（PUS※5）

高付加価値樹脂を開発
シューズ用PUSの需要取り込む

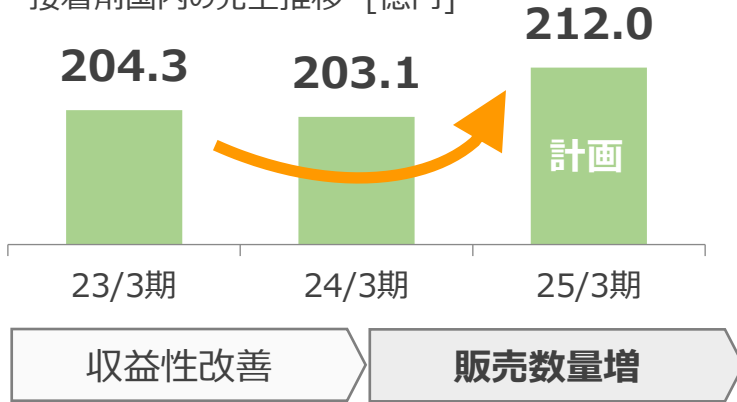
※1 AAP : アイカ・アジア・パシフィック ※2 MDF : Medium Density Fiberboard ※3 ADBS : ADBシーラント ※4 EMC : エバモア・ケミカル ※5 PUS : ポリウレタンシステム

積極的な投資を成長につなげていく

2-8. 化成品セグメント 方策（国内グループ）

接着剤

接着剤国内の売上推移 [億円]

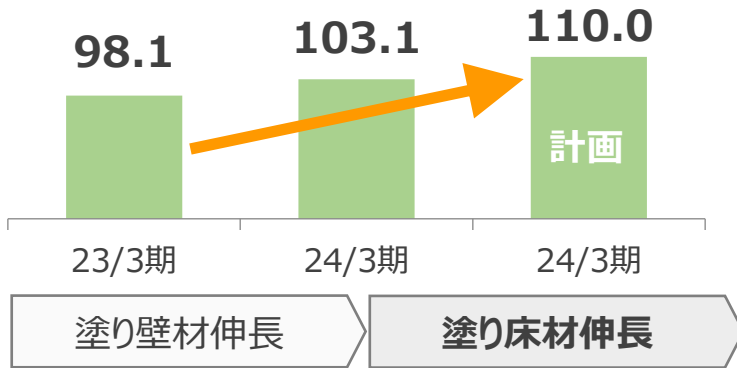


- ・品番統合
- ・適正価格への引き上げ
- ・不採算取引の見直し

収益性改善 + 販売数量増

建設樹脂

建設樹脂の売上推移 [億円]



環境対応、帯電防止、省工程タイプなど
豊富な塗床ラインナップで工場などで拡大

機能材料

自動車内外装向け **3次元加飾フィルム**

- ・自動車メーカーのスペッククリア
- ・国内・海外で展示会出展、認知度アップ
- ・国内外で試験採用件数増



2031年度に売上高50億円を目指す

収益性改善を継続しつつ、ニーズを捉え販売数量を増加

2-9. 建装建材セグメント 商品群別売上計画

[億円]

	2024/3期 通期	2025/3期 通期	
	実績	計画	伸率
メラミン化粧板	343.2	370.0	+7.8%
ボード フィルム等	124.1	127.0	+2.3%
セラール	232.5	243.0	+4.5%
不燃建材	75.2	77.0	+2.4%
住器建材	288.0	301.0	+4.5%
合計	1,063.2	1,118.0	+5.1%

全ての商品群で前年を上回る売上げを計画

2-10. 建装建材セグメント 方策（国内）

スマートサニタリー（スマサニ）

売上高推移



ショールーム改修
スマサニスペース拡張

[億円]



設計：株式会社クーマ



SNSで人気に火

コロナショック
手洗い需要増

スマサニNET立ち上げ
受注の効率化

23.8

計画

12.1

7.0

3.9

2.5

1.3

0.1

0.4

17/3期

18/3期

19/3期

20/3期

21/3期

22/3期

23/3期

24/3期

25/3期

スマサニ発売

フィオレストーン

アイカインテリア工業

高級人造石カウンター
加工ライン増設

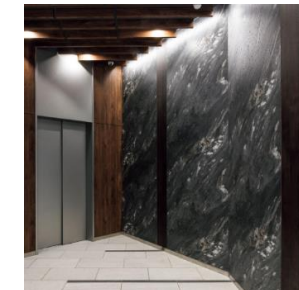


2024年10月稼働

2026年度に売上高100億円を目指す

高意匠メラミン化粧板

セラール セレント



【壁面】

セルサスPT

NEW



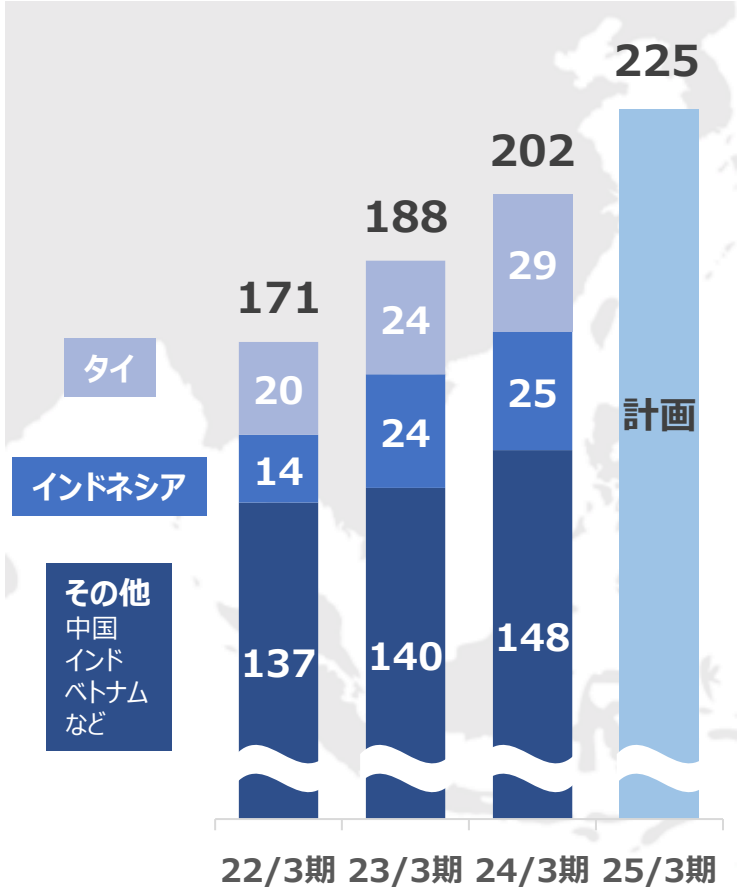
【水平面】

ニーズを捉えた高付加価値商品の展開加速

2-11. 建装建材セグメント 方策（海外）

タイ・インドネシアでの成長

建装建材海外 売上高推移 [億円]



タイ

国内シェアNo.2

売上高CAGR +21.9%*

ブランド力あり認知度高く
ハイエンド向けで更なる拡大

インド ネシア

国内シェアNo.2

売上高CAGR +31.6%*

首都移転開発など旺盛な
需要を取り込み成長

※2022年度から3年間の 売上高年平均成長率

ブランド浸透

ウィルソナート社名変更

Wilsonart 社



Aica Wilsonart 社

先頭にAicaを追加

品質×デザインの
「AICA」ブランドを浸透

AICAブランド浸透、成長市場のハイエンド領域を獲得

1. 2025年3月期 第2四半期（中間期） 実績
2. 2025年3月期 通期 計画
- 3. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗**
4. 資本政策・株主還元

[億円]

3-1. 中期経営計画の進捗 (セグメント別目標)

	前中期経営計画	1年目	2年目		4年目
	2023/3期 (実績)	2024/3期 (実績)	2025/3期 中間期(実績)	2025/3期 通期 (計画※3)	2027/3期 (中計策定時計画)
売上高	2,420	2,366	1,201	2,500	3,000
経常利益	220	261	142	283	300
A S 商品※1売上高※2	193	217	111	240	280
海外売上高比率	51.2%	47.8%	48.3%	50%以上	50%以上
ROE	6.9%	9.9%	—	9.6%	10%を目処
ROIC	8.1%	8.9%	—	9.0%	8%を目処

※1 AICA Solution 商品の略。様々な社会課題を解決する商品

※2 アイカ工業(株)単体

※3 2024年7月発表の業績修正計画

3-2. 中期経営計画の進捗（財務目標）

[百万円]

		前中期経営計画	1年目	2年目		4年目
		2023/3期 (実績)	2024/3期 (実績)	2025/3期 中間期 (実績)	2025/3期 通期 (計画※)	2027/3期 (中計策定時計画)
化成品	売上高	141,312	130,300	67,571	138,200	175,000
	営業利益	7,494	9,280	4,619	9,700	12,000
	営業利益率	5.3%	7.1%	6.8%	7.0%	6.9%
	EBITDA	11,489	13,783	6,904	14,119	17,562
	EBITDA率	8.1%	10.6%	10.2%	10.2%	10.0%
建装建材	売上高	100,743	106,325	52,569	111,800	125,000
	営業利益	16,740	20,339	10,518	21,800	22,500
	営業利益率	16.6%	19.1%	20.0%	19.5%	18.0%
	EBITDA	21,337	24,344	12,419	25,875	27,391
	EBITDA率	21.2%	22.9%	23.6%	23.1%	21.9%

※ 2024年10月30日発表の決算短信補足資料より修正有り（利益のみセグメント間で変更、合計は修正無し）

3-3. 中期経営計画の進捗（マテリアリティ）

		2025/3期中間期実績
財務	(1)経済価値の提供	売上高1,201億円、経常利益142億円、海外売上高比率48.3%。
	(2)商品を通じた社会課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・AS商品※1 売上：111億円※2。 ・SDGsカタログ発刊。リサイクル、バイオマス、省エネ、省施工など社会課題に貢献する商品群を収録。
非財務	(3)気候変動対応	<ul style="list-style-type: none"> ・GHG排出量(スコープ1&2)：2026年度までに2022年度比14%削減に向けて概ね計画通り。 ・国内は再エネ由来電力への切り替え推進。 ・海外はグループ会社のスコープ3に対するプレ保証受審完了。
	(4)人的資本経営の基盤構築	<ul style="list-style-type: none"> ・人的資本投資額※2：10億円以上（2025/3期通期見込み） ・グローバル人材育成：海外新規赴任者2名。新規海外トレーニー1名派遣。 ・エンゲージメントスコア：下期に第2回アイカグループ従業員意識調査実施予定。
	(5)DX対応	自動化・省人化に資する設備投資額、情報化投資額：82百万円。
	(6)ガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重に向けた取り組みを促進するため、「人権・サプライチェーン分科会」を設置。 ・人権を切り口としたサプライヤーとのエンゲージメントを下期実施予定。 ・ファイアーウォール・VPNソフト常時最新化を維持。ITガバナンスに関する情報共有会を継続開催。
	(7)品質保証・労働安全	休業労災件数は前年より減少。

※1 AICA Solution商品の略。様々な社会課題を解決する商品

※2 アイカ工業(株)単体

1. 2025年3月期 第2四半期（中間期） 実績
2. 2025年3月期 通期 計画
3. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗
- 4. 資本政策・株主還元**

4-1. 資本政策・株主還元（株式の売出し・自己株式取得）

【株式の売出し（完了）】

	内容
株式数	1,822,600株 + オーバーアロットメント273,000株
売出人	東京海上日動火災保険(株)/(株)三菱UFJ銀行/(株)名古屋銀行
売出価格	3,157円
売出価格総額	66.1億円
売出方法	引受人の買取引受による売出し
日程	9月30日 決議 → 10月8日 条件決定 → 10月16日 受渡期日
ポーション比率	一般投資家90%、機関投資家10%

<需要倍率>

全体
約**15**倍

<株式購入者>

個人株主
約**2,000**名
(2024.9月末時点：10,264名)

<出来高変化>

約**1.8**倍
(2023/10/17~11/15平均値：149,781株)
↓
(2024/10/17~11/15平均値：267,171株)

市場参加者から高い評価を獲得、株主層の拡大および流動性向上を達成

【自己株式取得】

	内容
株式数	1,500,000株（上限）
取得価額総額	40億円（上限）
取得方法	東京証券取引所における市場買い付け
期間	2024年10月17日～2025年3月31日

<2024年10月31日までに取得した自己株式>

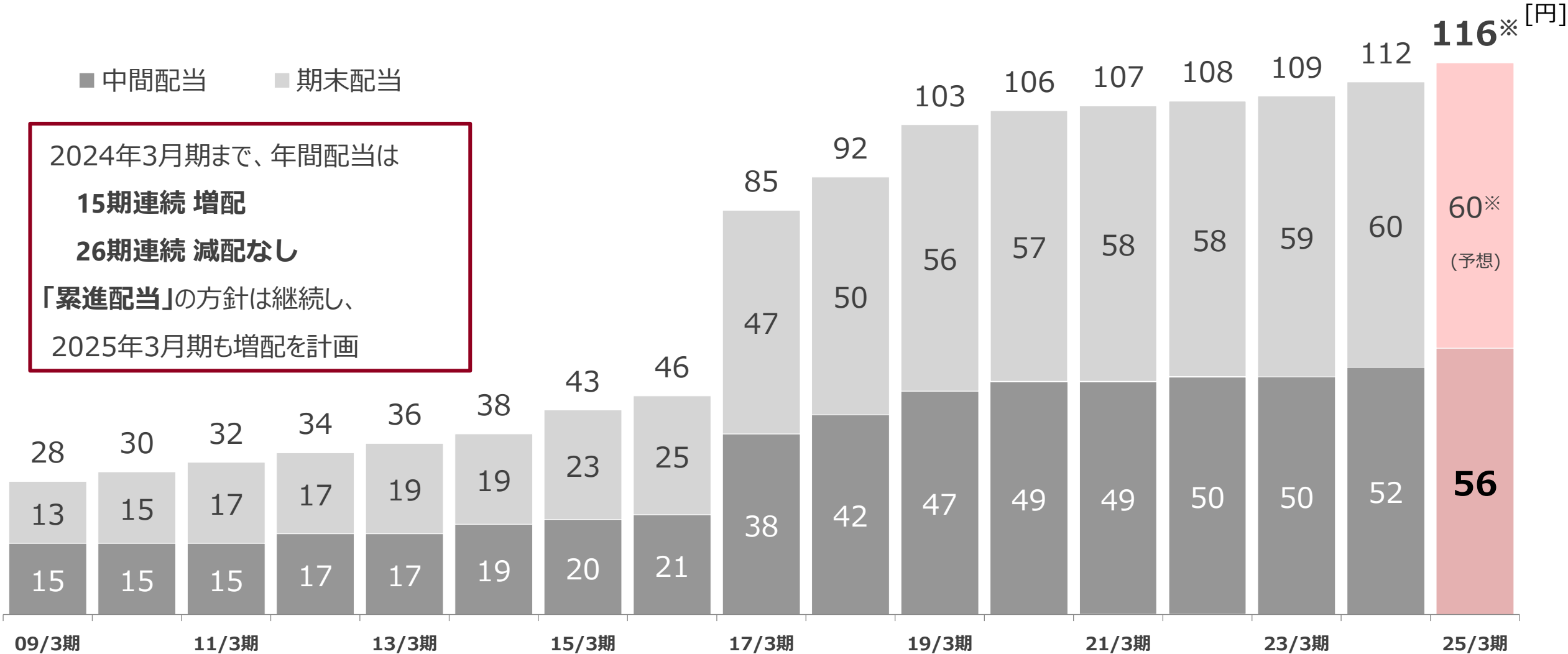
・株式数 547,900株
・取得価額総額 1,804,589,100円

<株価推移>

3,397円(9月30日) → 3,343円(11月15日)

株主への利益還元の充実、資本効率の向上を目的に実施中

4-2. 資本政策・株主還元（配当）



2024年3月期まで、年間配当は
15期連続 増配
26期連続 減配なし
「累進配当」の方針は継続し、
2025年3月期も増配を計画

※2025年3月期の期末配当は、現時点の予想値です。

25/3期の配当計画は、前期実績から4円増配の116円へ（当初計画は113円）



アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。